

令和元年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動現状報告

(令和2年3月31日現在)

氏名 宮崎 晶子

1. 研究テーマ

- 1) 歯科衛生士教育における学習効率向上のための視知覚パターンの解析
Analyses of visual perception pattern for learning efficiency up at dental hygiene education
- 2) 口腔清掃用具の使用順に関する研究
Study on the order of use of oral cleaning tools
- 3) 歯間隣接面の清掃に関する研究
Study of interproximal tooth surface cleaning
- 4) 歯科衛生士教育におけるメディカルアロマセラピーに関する研究
A study of the medical aromatherapy in dental hygienist education
- 5) 学齢期の口腔内状況と意識に関する研究
Study on oral condition and consciousness in school age
- 6) 舌清掃器具の違いによる舌清掃圧の研究
A study of tongue cleaning pressure by the difference of the tongue cleaning equipment.
- 7) 歯冠近遠心幅径は叢生の程度と関係する
Proximal crown width is related to the degree of crowding

2. 今年度の研究計画

- 1) 歯科衛生士教育における学習効率向上のための視知覚パターンの解析
平成29～31年度科研費にて行う『歯科衛生士教育における学習効率向上のための視知覚パターンの解析』の研究である。今年度は、2年次に実技を伴う視線教育を行った学生に対し、同様の実技試験を行った課題正解率について解析を行い、その成果を第10回日本歯科衛生教育学会（12月、福岡）でポスター発表を行った（効果的なデモンストレーションの検討 第3報：実技試験結果からの考察）。次年度は同学会に論文を投稿する予定である。

2) 口腔清掃用具の使用順に関する研究

歯ブラシと歯間ブラシの使用順序がどのように清掃効果に影響を及ぼすかを明らかにし、効果的な口腔清掃指導法を確立することを目的として研究を行った。次年度の日本歯周病学会発表する予定である（令和2年5月）。次年度は患者指導用の効果的な歯間ブラシ使用方法に関するリーフレットを作成する予定である。

3) 歯間隣接面の清掃に関する研究

Study of interproximal tooth surface cleaning

歯周病のリスクの高い歯間隣接面のプラークを効果的に除去するための歯ブラシ刷毛形態を明らかにすることを目的に、歯間ブラシと刷毛形態の異なる2種類の歯ブラシを用いてプラーク除去効果を比較検討した。その結果は、第63回春季日本歯周病学会学術大会（2020年5月29日、福島）にて発表予定である（佐藤）。今後は、刷毛形態の違いに加え、ブラシ圧の違いによるプラーク除去への影響について検討し、効果的に歯間隣接面のプラーク除去ができる用具や清掃方法について研究を継続する。

4) 歯科衛生士教育におけるメディカルアロマセラピーに関する研究

歯科衛生士は、患者さんの話を聴き、目で診て、口・身体に触れ、口において病気を判断するなど、五感を活用して患者さんを診る専門職である。五感を使って患者さんを診る際は、医療者自身が心身ともに健康であることが望まれる。そのため、臨床実習中の歯科衛生士学生を対象に「ストレスに対し、どのように対処しどのように付き合っていくか」を考えるストレスマネジメントを目的とした「アロマセラピー実習」を行い、学生のストレス緩和としてアロマセラピーが有用であることを報告した。また、歯科診療への応用に向けたアロマセラピーの研究として、真正ラベンダー精油のストレス緩和効果について研究し、その研究成果を学会で発表した。今後は、歯科衛生士が心身ともに健康な状態で業務に取り組めるよう、アロマセラピー（芳香浴）の方法を構築するために、本学学生を対象とした研究を検討している。

5) 学齢期の口腔内状況と意識に関する研究

プラークの付着と歯肉炎の罹患には関係があり小学生のうちから適切な教育と管理を行うことが重要である。本研究は経年的に本学が昼休みの歯磨き指導を実施している小学5年生を対象に、口腔内の状況とアンケートの結果との関連性を明らかにし、効果的指導の一助とすることを目的としている。今年度は歯科衛生士研究会で発表を行っている。現在、日本口腔保健学雑誌に投稿中である。今後は経年変化について研究を継続する。

6) 舌清掃器具の違いによる舌清掃圧の研究

舌清掃は口腔清掃の一つとして定着しつつあり、患者への清掃方法指導は歯科衛生士の重要な業務の一つである。しかしながら、舌清掃の方法、特に清掃圧に関して検討した研究報告は少ない。そこで本研究では、実際にどの程度の圧をかけて舌清掃しているのか、異なるタイプの舌清掃器具を比較し基礎的なデータ収

取を行った。今後は基礎的データに基づき *in vitro* で、圧力の違いによる傷つき具合の調査を行っていく。

7) 歯冠近遠心幅径は叢生の程度と関係する

近年、日本人の顎は小さくなっているといわれている。歯の数についても、先天的欠如の割合が増加しているとの報告がある。一方、上顎中切歯や上下顎の臼歯は歯冠近遠心幅径が増加傾向にあるとの報告もある。以前から歯と顎骨の大きさのバランスが崩れると不正咬合が発現することは広く知られており、叢生の原因については多くの研究がなされている。しかし、歯冠近遠心幅径の大小が叢生の程度に与える影響について、同年代の集団を用いて検討した研究はほとんど見当たらない。そこで、歯冠近遠心幅径と叢生の程度がどのように関係するかを検討し、混合歯列期において永久歯の大きさから将来的な不正咬合の程度を予測できれば、矯正歯科臨床に寄与することができると考えた。これが本研究の目的である。なお、本研究の結果は次年度歯科衛生学会において発表や学術論文を通じて社会へフィードバック予定である。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

- (1) 新潟市立浜浦小学校
- (2) 新潟市立東区特別支援学校
- (3) 新潟市立早通南小学校
- (4) 新潟市立日和山小学校
- (5) 新潟市立木山小学校
- (6) 長岡市立上組小学校

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

- (1) 北信越障害者歯科臨床研究会幹事
- (2) 日本歯科衛生教育学会 理事
- (3) 日本歯科衛生教育学会 評議員

3) 公的な委員会等

- (1) 一般社団法人新潟県歯科衛生士会 理事
- (2) 全国大学歯科衛生士会教育協議会 理事
- (3) 全国歯科衛生士教育協議会 理事
- (4) ISO TC 106/SC7 国際規格作成委員会 日本委員会
WG1 分科会（手用歯ブラシ）
WG2 分科会（電動口腔衛生用具）
- (5) 基金事業 歯科衛生士・歯科技工士確保推進事業関係者協議会 委員
- (6) 日本歯科衛生教育学会 学術・企画委員会 委員

4 研究業績

A 著書

- 1) 宮崎晶子 (分担) : 事例でわかる歯科衛生過程. 全国歯科衛生士教育協議会編, 第1版第1刷, 医歯薬出版, 東京, 2019. 4章ワークで学ぶ歯科衛生過程. 91-104. ISBN 978-4-263-42258-8.
- 2) 宮崎晶子 (共著) : 歯科衛生学辞典. 全国歯科衛生士教育協議会監修, 第1版第1刷, 永末書店, 京都, 2019. ISBN 978-4-8160-1368-3.
- 3) 宮崎晶子 (共著) : よくわかる歯科衛生過程. 全国歯科衛生士教育協議会編, 第1版第6刷, 医歯薬出版, 東京, 2020. ISBN 978-4-263-42205-2.
- 4) 宮崎晶子 (分担) : 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版. 全国歯科衛生士教育協議会編 : 4章 補綴治療時の診療補助. 第2版6刷(補訂), 医歯薬出版, 東京, 2020. 138-152. ISBN 978-4-263-42840-5.
- 5) 宮崎晶子 (分担) : 最新歯科衛生士教本 顎機能障害・咬合異常 I 歯科補綴 第2版第1刷. 全国歯科衛生士教育協議会編 : 3章 有床義歯治療, 医歯薬出版, 東京, 2019. 患者への説明と指導 131-142, ISBN 978-4-263-42864-1.
- 6) 宮崎晶子 (分担) : 最新歯科衛生士教本 歯科材料. 全国歯科衛生士教育協議会編 : 11章 その他の歯科材料. 1版5刷, 医歯薬出版, 東京, 2020. 歯科補綴にかかわる材料 162-170. ISBN 978-4-263-42851-1.
- 7) 宮崎晶子 (分担) : 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論. 全国歯科衛生士教育協議会編 : III編 2章 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理. 第2版1刷, 医歯薬出版, 東京, 2020. 3 認知機能の把握～7 口腔の機能的問題の把握. 126-156. ISBN 978-4-263-42863-4.

B 原著

記載事項なし

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

- 1) 高木美輝, 宮崎晶子 : 歯ブラシの形態, ブラッシング圧およびブラッシング方法がプラーク除去率に及ぼす影響. 日本口腔保健学雑誌第9巻第1号 : 72～78, 2019年.

E 翻訳

記載事項なし

F 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

- 1) Kameda T., Sato H., Miyazaki A., Oka S., Ohkuma K., Terada K., Low temperature-polytetrafluoroethylene coating can improve metallic appearance of titanium wires without changing their mechanical property, 日本矯正歯科学会第78回学術大会, 長崎, 2019年11月20-22日

- 2) 筒井紀子, 煤賀美緒, 三富純子, 宮崎晶子, 佐藤治美, 土田智子, 菊地ひとみ: 要介護高齢者を想定した「ベッド上での口腔ケア」実習の新たな試み, 日本歯科衛生教育学会雑誌第 10 巻第 2 号: 116, 2019 年 12 月.
- 3) 宮崎晶子, 佐藤治美, 佐藤律子, 三富純子, 筒井紀子, 菊地ひとみ, 中村直樹, 田中聖至, 佐野公人: 効果的なデモンストレーションの検討 第 3 報 実技試験結果からの考察, 日本歯科衛生教育学会雑誌第 10 巻第 2 号: 125, 2019 年 12 月.

H その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類: 継続

研究期間: 2019 年 4 月 1 日~2020 年 3 月 31 日

研究課題名: 歯間ブラシの使用マニュアルの探索

研究代表者: 宮崎晶子

研究分担者: 佐藤治美, 三富純子, 元井志保, 土田智子, 筒井紀子,
菊地ひとみ, 煤賀美緒, 三富純子, 両角祐子

一課題あたりの総取得額: 30 万

2) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類: 継続

研究期間: 2019 年 4 月 1 日~2020 年 3 月 31 日

研究課題名: 歯の着色汚れに関する研究・新素材、新規開発フィラメント等に関する研究

研究代表者: 佐藤治美

研究分担者: 菊地ひとみ, 三富純子, 宮崎晶子, 土田智子, 筒井紀子,
元井志保, 煤賀美緒

一課題あたりの総取得額: 30 万

3) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類: 継続

研究期間: 2019 年 4 月 1 日~2020 年 3 月 31 日

研究課題名: 唾液分泌促進・口臭抑制に関する研究 (新素材、舌ブラシ、
歯ブラシ等)

研究代表者: 筒井紀子

研究分担者: 大森みさき、元井志保、煤賀美緒、土田智子、三富純子
宮崎晶子、佐藤治美、菊地ひとみ、両角祐子、三上正人

一課題あたりの総取得額: 30 万

2. 科学研究費

1) 平成 31 年度 基盤研究 (C) (一般)

種 類 : 継 続

研究期間 : 2019年4月1日～2020年3月31日

研究課題名 : 歯科衛生士教育における学習効率向上のための視知覚パターンの
解析

研究代表者 : 宮崎晶子

研究分担者 : 佐藤治美, 佐藤律子

一課題あたりの総取得額 : 442万6千円 (当該年度取得額 91万円)